

6年生 学年だより
冬休み号+1月号



日出学園小学校
12月20日
No.11

今年も、あと少しで終わりを迎えようとしています。入学してからあつという間の6年間、3月には小学校を卒業し、中学校という新たなスタートラインに立ちます。

あらためて日出学園小学校を卒業する6年生としての自覚をもち、基本的な生活習慣を身に着けることで、中学校に自信をもって進学できるよう準備を進めていきましょう。これから寒さも厳しさを増しますが、子どもたちが残り少ない学校生活を元気に送ることができるよう、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

1月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
下	6	7	8 始業式	9 短縮日課 1・2校時 特活	10 通常日課開始 委員会活動	11 休み
12 下	13 成人の日	14★	15 学年集会	16★ 内部進学補習 (最終日)	17 テレビ朝礼 クラブ活動 日出中受験者 諸注意 (15:30~)	18 休み
19 上	20 体操朝礼 中学I期入試	21	22 学年集会 放課後自習室	23 中学II期入試	24 クラブ活動	25 1~5年生 授業参観 ※6年生の参 観はありません
26 上	27 音楽朝礼	28	29 学年集会 放課後自習室	30 委員会活動 (昼休み)	31 クラブ活動	2/1 授業日

学習予定

国語	古典芸能への招待状 言葉の移り変わり 宇宙への思い
算数	練成テキストまとめプリント 入学試験対策
社会	長く続いた戦争と人々の暮らし、新しい日本、平和な日本へ
理科	総復習 かけがえのない地球環境
音楽	野に咲く花のように 星の世界
図工	卒業制作
体育	短縄、ソフトバレー ※短縄は、それぞれご用意ください。
言語表現	未来への情報活用
読書	季節の足音(冬)
書写	好きな言葉を書く
家庭科	共に生きる地域での生活
情報	情報モラル マイクロビットを使おう2(プログラミング)
道徳	自由行動 杉原千畝 人間を作る道～剣道～
英語	My Future My Dream

お知らせ

- ① 1月の自習室開放日は、1/22(水)、29(水)です。
- ② 日出学園中学校入試について ※1月17日(金)15:30～、児童向けに説明を行います。
 - ・ **I期入試 1月20日(月)**
集合時間:単願者・併願者ともに、8時までに各教室集合。**(必ず制服着用)**
持ち物 :補助バッグの中に受験票・筆記用具・定規・ハンカチ・ティッシュ・水筒など
※試験は午前中で終わりますので、お弁当は不要です。面接はありませんので、筆記試験が
終わりましたら教室に戻り、担任と挨拶した後下校します。
 - ・ **II期入試 1月23日(木)**
各自で中学校へ向かいます。上履きを忘れないよう持たせてください。**(必ず制服着用)**

【入試について再度のお願い】

 - ・ 結果については合否にかかわらず、必ずご連絡ください。
 - ・ 受験校変更の場合も必ずご連絡ください。
- ③ 3学期の体育は、短縄を使います。ご用意ください。
- ④ 3学期の牛乳注文について、変更がある場合は担任へお知らせください。
※入試で欠席者の多い1月20日(月)につきましては昼食時の牛乳は注文いたしません。
登校の際は、水筒を持たせてください。

1 冬休みの宿題

【全員が取り組むもの】

- ・書き初め『明けゆく世界』1/8(水)提出
⇒学年は書かない! 名前のみ!
- 指定の用紙で、始業式の日には1枚提出。



【各自で取り組む課題】

- ・青雲会書初め誌上コンクール課題(希望者のみ) 1/8(水)提出
※ 出品料 800 円、同じく指定の用紙で提出
- ・内部進学者の課題は 1/8(水) に提出してください。
内容については、すでにお話している通りです。
- ・モノグサ(漢字)について
6年生で習う全ての漢字は、2学期中に学習し終わりました。
すき間時間にモノグサに取り組み、1年間の漢字総復習をしてみましょう。

2 ※生い立ちの記について

※生い立ちの記

・・・生まれてから今までの出来事や思い出をふり返り、自筆の文章と写真などで構成する自分史。

1 月下旬頃から取り組み始める予定です。作成の手順については中学 I 期入試後、お子様に向けて学校で説明会を行ないます。

母子手帳やアルバムなどをもとに、誕生からの様子・家族の思い出などをお子様にお話してください。日記や作文や文集、さらに生活科で2年生のときに作成した資料があるとスムーズに書くことができます。写真や絵を貼っても構いませんが、2Lサイズまでの写真・絵10枚以下とします。また、写真は厚みがあるため、必ずカラーコピーしてください。

なお、課題は原稿用紙 50 枚以上がノルマとなります。幼少期や小学校入学時など昔の思い出が十分にふり返れるよう、写真の選定についてはお子様とよくご相談ください。